

電磁気学 I 演習 第 5 回 解答

6''. (1) Fig. 6''(a)のように半径 r の円輪を線電荷密度 σ で一様に帯電させるとき、円輪の中心を通り垂直な軸上 (z 軸上) の電界を、円輪の周上の微小電荷 σdl が作る電界を足し合わせるにより求めよ。

(2) もし線電荷が r 方向に微小幅 dr を持ち、細い平板ドーナツ状になっているとき、これが z 軸上につくる電界は、(1)の結果において線電荷密度 σ を面電荷密度 σ' に置き換え、それに dr をかけたものになる。それを踏まえ、Fig. 6''(b)のように、半径 a の円盤が面電荷密度 σ' で一様に帯電しているとき、同様に z 軸上に作る電界を求めよ。

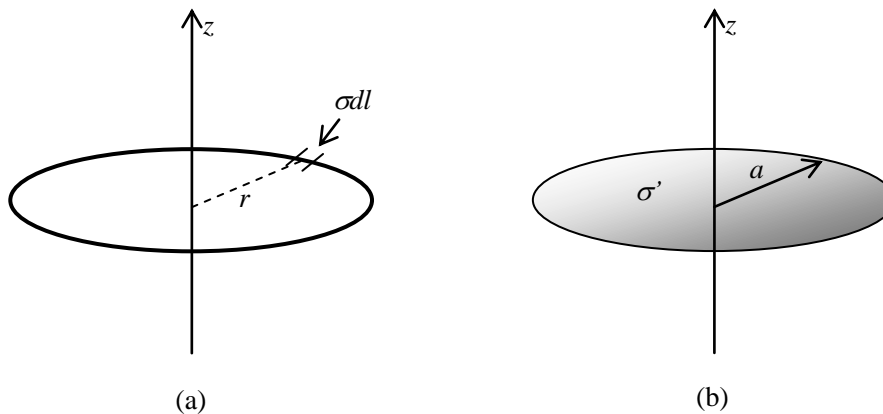


Fig. 6''

【解答】

(1)

対称性より、電界は z 成分しか持たない。微小線分が作る z 方向の電界は、

$$dE_z = \frac{z\sigma}{4\pi\epsilon_0(r^2 + z^2)^{3/2}} dl = \frac{z\sigma}{4\pi\epsilon_0(r^2 + z^2)^{3/2}} r d\phi$$

であるので、

$$\begin{aligned} E_z &= \int_{\phi=0}^{2\pi} \frac{z\sigma}{4\pi\epsilon_0(r^2 + z^2)^{3/2}} r d\phi \\ &= \frac{z\sigma r}{2\epsilon_0(r^2 + z^2)^{3/2}} \end{aligned}$$

(2)

問題文の通り、微小幅の平板ドーナツが作る z 方向の電界は、

$$dE_z = \frac{z\sigma' r}{2\epsilon_0 (r^2 + z^2)^{3/2}} dr$$

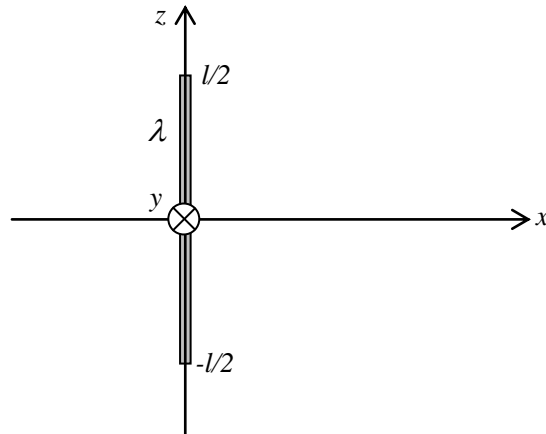
よって、

$$\begin{aligned} E_z &= \int_{r=0}^a \frac{z\sigma' r}{2\epsilon_0 (r^2 + z^2)^{3/2}} dr \\ &= \frac{z\sigma'}{2\epsilon_0} \left[-\frac{1}{\sqrt{r^2 + z^2}} \right]_0^a \\ &= \frac{z\sigma'}{2\epsilon_0} \left(\frac{1}{|z|} - \frac{1}{\sqrt{a^2 + z^2}} \right) \end{aligned}$$

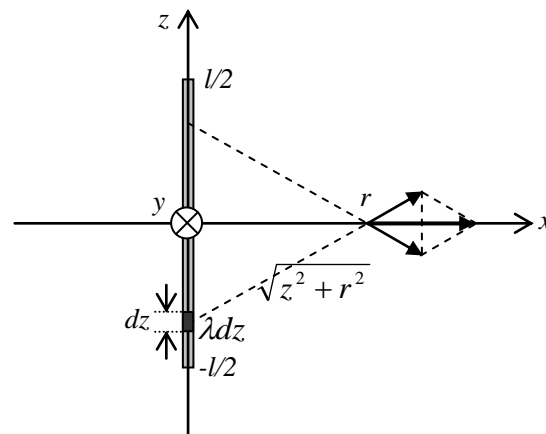
5. 長さ l の直線状電荷があるとき、この直線状電荷の中点を通り、かつ垂直な面内の電界を求めよ。ただし、線状電荷の線電荷密度は λ [C/m] とする。必要があれば

$$\text{公式} \quad \int (z^2 + a^2)^{-3/2} dz = \frac{z}{a^2 \sqrt{z^2 + a^2}} + C$$

を用いて良い。



解答

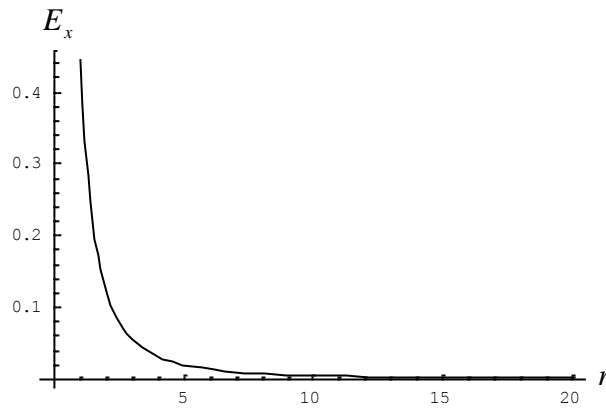


対称性より、電界は x 軸上で x 成分しか持たない。 z の位置にある長さ dz の微小線電荷が

$x = r$ の位置に作る電界の x 成分は $\frac{\lambda dz}{4\pi\epsilon_0(z^2 + r^2)} \frac{r}{\sqrt{z^2 + r^2}} = \frac{\lambda r}{4\pi\epsilon_0} \frac{dz}{(z^2 + r^2)^{3/2}}$ であり、

これを積分して、

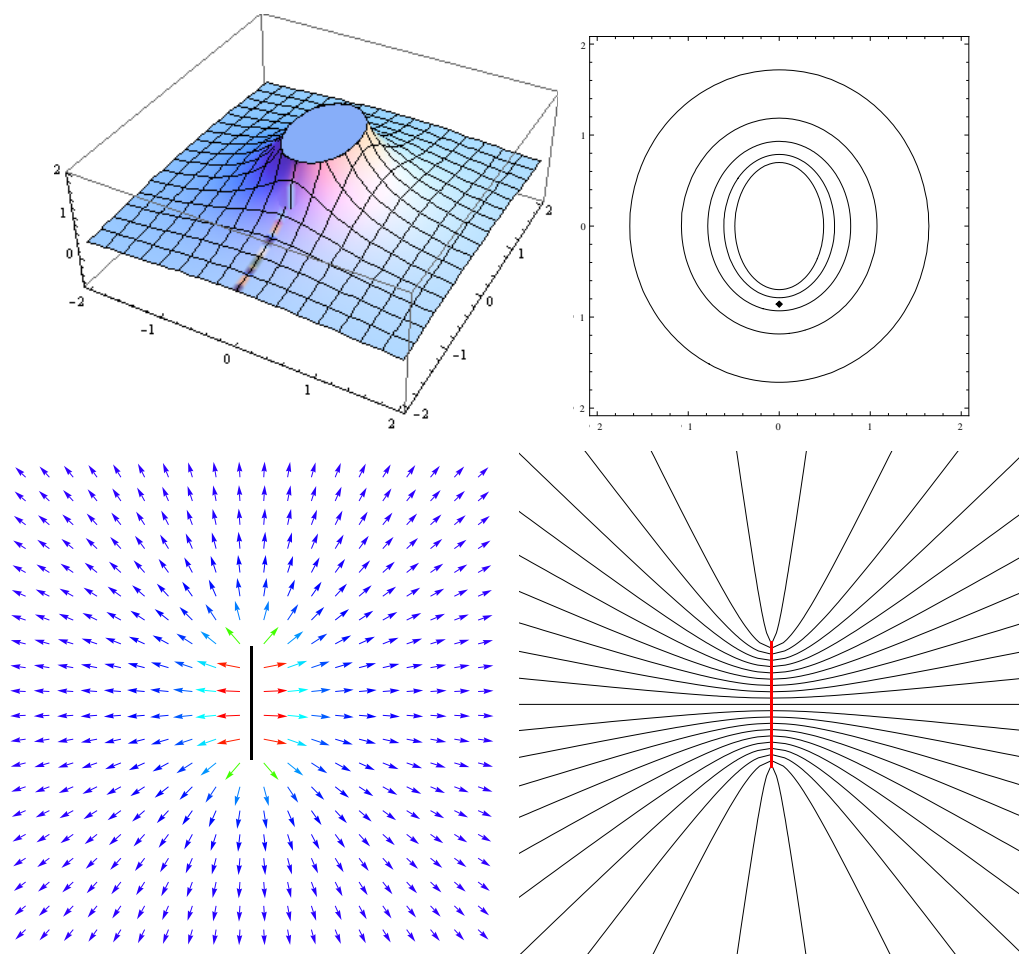
$$\begin{aligned} E_x &= \frac{\lambda r}{4\pi\epsilon_0} \int_{z=-l/2}^{l/2} \frac{dz}{(z^2 + r^2)^{3/2}} = \frac{\lambda r}{4\pi\epsilon_0} \left[\frac{z}{r^2 \sqrt{z^2 + r^2}} \right]_{z=-l/2}^{l/2} \\ &= \frac{\lambda r}{4\pi\epsilon_0} \left[\frac{l/2}{r^2 \sqrt{(l/2)^2 + r^2}} - \frac{-l/2}{r^2 \sqrt{(l/2)^2 + r^2}} \right] \\ &= \frac{\lambda}{2\pi\epsilon_0 r} \frac{l/2}{\sqrt{(l/2)^2 + r^2}} \end{aligned}$$



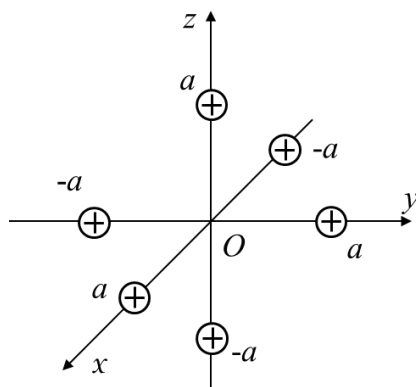
ところで、 $l \rightarrow \infty$ (無限長線電荷) とすると、

$$\lim_{l \rightarrow \infty} E_x = \lim_{l \rightarrow \infty} \frac{\lambda}{2\pi\epsilon_0 r} \frac{l/2}{\sqrt{(l/2)^2 + r^2}} = \lim_{l \rightarrow \infty} \frac{\lambda}{2\pi\epsilon_0 r} \frac{1}{\sqrt{1 + \left(\frac{r}{l/2}\right)^2}} = \frac{\lambda}{2\pi\epsilon_0 r}$$

となり、ガウスの法則と対称性から求めた解と一致する。逆に言うと、 $r \ll l$ のときは無限長線電荷が作る電界で良く近似できると言える。



6''' . 6 つの点電荷 $q/6$ が図のように配置されている。 x 軸上 ($x \geq 0$) 上の電界を求め、 x に対するグラフの概形を図示せよ。また、点電荷 q が 1 つだけ原点にある場合の電界と比較せよ。



【解答】

(i) $x < a$ のとき

$$E_x = \frac{1}{4\pi\epsilon_0} \frac{q}{6} \left[-\frac{1}{(a-x)^2} + \frac{1}{(a+x)^2} + \frac{4}{a^2+x^2} \frac{x}{\sqrt{a^2+x^2}} \right]$$

(ii) $x \geq a$ のとき

$$E_x = \frac{1}{4\pi\epsilon_0} \frac{q}{6} \left[\frac{1}{(a-x)^2} + \frac{1}{(a+x)^2} + \frac{4}{a^2+x^2} \frac{x}{\sqrt{a^2+x^2}} \right]$$

電荷が原点に 1 個だけあるときは

$$E_x = q/4\pi\epsilon_0 x^2$$

